

平成 26 年第 1 回奈良県たばこ対策推進委員会 のご質問・ご要望について（主なもの）

1. 禁煙治療の保険適用要件を満たしていない人に対する支援について
⇒禁煙治療の保険適用にならない人への支援としては、未成年者の禁煙支援に重点を置いて取り組んでいるところ。今後、他の都道府県や市町村の取組について調査し、効果的な取組について検討していく予定。
2. COPD対策モデル事業について、肺年齢を測定し、数値の悪かったハイリスク者だけでなくポピュレーションアプローチもできないか検討していただきたい。
⇒COPD予防講演会を奈良県立医科大学の友田先生を講師とし、県民全体を対象とした公開講座として実施。また、他の事業で作成している禁煙支援リーフレットを各種健診の場等で活用できないか検討。
3. 未成年者禁煙支援相談事業をさらに充実したものにしていただきたい。
⇒平成 27 年度は平成 26 年度と同様の手法で事業実施予定。どのような方法がさらに効果的か引き続き検討する予定。
4. 妊産婦への対策としては、ガイドブック等で支援する医療職者の教育に加え、妊産婦に直接働きかけるような事業を展開していただきたい。
⇒妊産婦に直接働きかけることができるのは市町村の保健師が中心となっている。平成 25 年度に作成・配布した妊産婦禁煙支援ガイドブックの使用状況調査を実施するとともに、市町村と連携した取組を検討。市町村保健師等に対する禁煙支援アドバイザー研修会も継続して実施していきたい。なお、禁煙や禁煙支援に対する医療職者や県民の関心を高めるため、妊産婦禁煙支援ガイドブックの内容については、ホームページで公開している。